

## 平成24年度 第7回教育研究評議会議事録（案）

日 時 平成24年11月21日（水）14時30分～17時00分

場 所 事務局大会議室・工学部大会議室（テレビ会議）

出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、今野、梅澤、國宗、塩川、荒川、酒井、西原、増田、青山、塩尻、東郷、星野、佐古、鈴木、渡邊修、糠谷、永津、渡邊尚、三村、田中、村井、加藤の各評議員

欠席者 なし

陪席者 大戸、徳山の各監事  
中村、佐藤、木村の各学長補佐

### I 議事録の承認について

平成24年度第6回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 国立大学法人静岡大学学則の一部改正及び静岡大学における履修科目の登録単位数の上限に関する規則の制定について

石井委員から、平成25年度から履修科目の登録単位数の上限を設ける（CAP制導入）ことに伴う学則の一部改正及び標記規則の制定について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 2 静岡大学男女共同参画推進室特任教員人事委員会の設置について

船橋委員から、男女共同参画推進室の特任教員採用にあたり、教育研究評議会の下に、人事委員会を設置することについて、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 3 研究科入試合否判定に係る議決機関の取扱いについて

議長から、研究科入試合否判定に係る議決機関の取扱いについて、研究科委員会での議決を条件を満たした場合に限り、専門委員会等で行うことができるとしたい旨、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、石井委員から本取扱いについては、大学院委員会において平成26年度入試から適用することが確認されたこと、また、今後、各部局において規則整備を進めていくよう発言があった。

#### 4 平成25年度の改組等に伴う経費等について

議長から、前回本会議（H24.10.17）において説明を行った標記の件について、工学部からの質問に対する回答及び平成25年度研究所設置等に係るセグ

メント経費の考え方（案）について、資料4により説明があった。

続いて、種々意見交換を行い、本提案については次のとおり確認した。

- ① 標記に関し、基本的な考え方について理解を得た。
- ② 各研究部門に配分するプロジェクト研究費については、全体の予算が明確になった時点において改めて提案すること。
- ③ 電子工学研究所及びグリーン科学技術研究所に係る使用面積の考え方については、理解を得たものとし、今後は、施設環境マネジメント委員会で審議を行い、各研究所の最終的な使用面積が確定したところで改めて水道光熱費の積算を行う。
- ④ サブコア教員のインセンティブについて意見があったこと。

（意見交換で出された主な意見）△は執行部

- サブコア教員に対するインセンティブについての考え方（1.5倍）に疑問がある。
- △ 間接経費及び学長裁量経費を含めた平成25年度予算の方針については、来年度の配分に向け今後検討していきたい。
- △ プロジェクト研究費を配分することで、他部局の予算を削ることは想定していない。
- 各部局のセグメント経費を含め全体の予算を見直すことが必要ではないか。現行の予算配分をどう組み替えていくか、示してもらいたい。
- 研究科と研究所の関係性を密にする改組としなければいけない。
- △ 各研究所は部局を跨る研究所として、全学的な位置付けとし、独立した部局である。ただし、本籍をおく研究科の教育を担保することが前提である。
- △ これまでの研究所に係る経費はリセットとし、新たにプロジェクト研究費を配分していきたい。
- グリーン科学技術研究所について、十分な議論ができていないのではないか。

## 5 静岡大学とマサリク大学(チェコ共和国)との学生交流に関する覚書に記載された協定学生数を超える学生数の受入れについて

村井委員から、標記覚書の受入れ学生数を平成25年度に限り「2人以内」から「3人以内」に変更することについて、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 6 静岡大学及び静岡英和学院大学短期大学部との単位互換に関する協定書等の締結について

石井委員から、標記協定書等の締結について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 企画戦略会議報告

議長から、第7回企画戦略会議（H24. 11. 7）について、資料7により報告があった。

#### 2 平成24年度静岡大学大学院入学試験実施状況について

石井委員から、平成24年10月入学者の大学院入学試験の実施状況について、資料8により報告があり、定員充足率については今後の組織見直しの判断材料となるとの発言があった。

#### 3 平成25年3月卒業・修了予定者の進路状況について

杉山委員から、平成25年3月卒業・修了予定者の進路状況について、資料9により報告があった。

なお、議長から、就職状況の未確認者については、引き続き各部局において情報把握に努めていただきたい旨要請があった。

#### 4 嶺南大学校(大韓民国)との大学間交流協定(更新)の締結について

村井委員から、標記大学間交流協定(更新)の締結について、資料10により報告があった。

#### 5 平成24年秋の叙勲について

議長から、平成24年秋の叙勲の受章者について、資料11により報告があった。

#### 6 地域イノベーション戦略支援プログラムの採択について

柳澤委員から、地域イノベーション戦略支援プログラムの採択について、資料12により報告があった。

なお、議長から、本プログラムの目的は、①浜松地域として知的クラスター事業を産業化すること、②本学のテラヘルツに関する研究者をトップレベルにすること、③新産業4分野に関し、本学が持っているシーズを浜松・東三河地域のニーズに結び付け、地域の振興に資することである旨の発言があった。

#### 7 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部1件、工学部2件、農学部1件の教員採用等報告について、資料13により報告があった。

### Ⅳ その他

#### 1 第11回環太平洋木質バイオマス複合材料シンポジウムの開催について

鈴木委員から、第11回環太平洋木質バイオマス複合材料シンポジウムの開催（H24. 11. 27～30開催）について、資料14により案内があった。

## 2 平成24年度科研費審査委員表彰者について

碓氷委員から、小西潤子教授（教育学部）及び久田隆基名誉教授（教育学部）が、独立行政法人日本学術振興会から平成24年度科研費審査委員表彰者に選考された旨の報告があった。

## 3 静大フェスタにつて

柳澤委員から、過日開催された、静大フェスタに関する協力等について、謝辞があった。

以 上